

「第 4 回日本・モンゴル学生フォーラム」 参加者 募集要項

1. 事業概要

(1) 概要

「日本・モンゴル学生フォーラム」は、令和 4 年度に日・モンゴル外交関係樹立 50 周年記念事業・青少年交流推進年記念事業として実施されました。その後、令和 4 年 11 月の日・モンゴル首脳会談の際に発出した共同声明で、両首脳は、「両国国民の交流や相互理解の深化を引き続き促進し」、「特に次世代を担う両国の若者の交流の深化を図っていく」ことを確認しました。また、同共同声明の付属文書である日本とモンゴルの行動計画には、「日本・モンゴル学生フォーラム」を含む青少年等の人的交流事業促進のための方策の継続・強化が盛り込まれました。

これを踏まえ、令和 6 年度に引き続き、日本とモンゴルの関係促進の礎である国民間の交流・相互理解を深めるとともに、特に若い世代の関心を掘り起こし、若者同士の協力関係を醸成することを目的として、両国の学生が共通の課題について議論する、「第 4 回日本・モンゴル学生フォーラム」を実施することとなりました。

「第 4 回日本・モンゴル学生フォーラム」では、日本人学生及び日本に留学するモンゴル人学生が、「共に育もう。「みどり」と「経済」」というテーマの下で、両国関係発展のための課題について、2 日間全 6 講座のオンラインでの事前学習を経た上で、2 泊 3 日の岐阜県での合宿で、テーマごとに分かれたワークショップにおけるグループ討論を行い、未来図を描いて全体会で発表します。また、合宿では、日モ文化の交流・体験等の時間を共に過ごします。

なお、本フォーラムの一部交流・体験活動においては、前回の学生フォーラムに参加した学生有志による学生準備委員会「日本・モンゴル学生フォーラム S C - 2025 -」が、企画・運営に携わります。

また、参加者の安全を確保するため、感染症やその他不測事態の状況等によっては、直前でプログラムを中止又は内容を変更する場合がございますので、予め御承知おきください。

(2) 期間

ア 事前オンライン学習会：

第 1 回：9 月 27 日（土曜日） 10 時 30 分から 16 時 15 分（調整中）

第 2 回：9 月 28 日（日曜日） 10 時 30 分から 16 時 15 分（調整中）

（両日とも講義は 1 コマあたり 60～90 分を 1 日に 3 コマ実施）

イ 合宿：2025 年 10 月 11 日（土曜日）から 13 日（月曜日・祝日）

（注）参加者の自己都合によるキャンセルにより、費用負担が発生した場合、発生した費用については、参加者御自身に負担いただきます。

(3) 合宿場所

福寿の里モンゴル村

住所：〒509-7521 岐阜県恵那市上矢作町 3587-1

電話：0573-47-3010

ホームページ：<https://fukujoyunosato.com/mongolia/>

(4) 募集人数

ア 事前オンライン学習会：人数制限なし

イ 合宿：日本人 20 名、日本留学中のモンゴル人 20 名

(5) 実施・運営 外務省が委託する下記企業による実施

株式会社 JTB ビジネスソリューション事業本部第二事業部

住所：〒163-0426 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 26 階

メール：nichimo-2025@jtb.com

電話：03-5909-8091

(注) 休業日・営業時間外にお送りいただいたお問い合わせは、翌営業日以降の返信となります。

営業日・営業時間 月曜日から金曜日 9 時 30 分から 17 時 30 分

(注) 土曜日・日曜日・祝日休、はお休みとなります。

2. プログラム

(1) 主なプログラム内容 (予定)

ア 事前オンライン学習会

(i) 開会挨拶

(ii) 専門講師等によるオンライン講座

内訳：モンゴル基礎講座 2 コマ、合宿討論テーマ別講座 3 コマ

① モンゴル基礎講座編

- ・モンゴル日本議員連盟会長 ジャンチブ・ガルバドラフ氏
- ・国立民族学博物館 人類文明誌研究部長・教授 島村 一平氏

② 合宿討論テーマ別講座

【砂漠化の防止のために両国が協力できること】

- ・鳥取大学名誉教授 山中 典和氏 (砂漠化防止)
- ・JICA モンゴル事務所長 宮城 兼輔氏 (砂漠化防止を含む海外協力)

【日・モンゴル EPA の利活用】

- ・CIC Institute プロジェクト・マネージャー エンフトウル・バトスレン氏

その他、昨年の学生フォーラムに参加した学生有志が組織した学生準備委員会「日本・モンゴル学生フォーラム S C (Student Committee) -2025-」による特別セッションもあります。

イ 合宿

- (i) 全体会合（開会セッション）
- (ii) 主催者挨拶、アイスブレイク（日モ学生フォーラム S C -2025-企画）
- (iii) 日本・モンゴル文化体験・交流
- (iv) テーマ別ワークショップ（テーマごとに分かれ討論、プロポーザルの策定）

テーマ A :

一人ひとりの意識と行動で地球と経済に潤いを！

—砂漠化防止とポテンシャルを活かす取組み—

テーマ B :

EPA でともに描く未来の経済シナジー！ —さらなる活性化、流動性を育むために—

- (v) 全体会合（閉会セッション）
- 各グループのプロポーザル発表、講評等

(2) 合宿の事前準備・プログラム中の活動・事後活動

ア 事前準備

- (i) 全2回の事前オンライン学習会へ参加
- (ii) 事前オンライン学習会後のアンケート提出

イ 合宿中の活動

- (i) 意見交換等に積極的に参加し、議論に貢献
- (ii) 参加者間のグループワークと報告会での発表
- (iii) モンゴル文化体験・交流（日モ学生フォーラム S C -2025-企画）
- (iv) 日本文化体験・交流（日モ学生フォーラム S C -2025-企画）

ウ 事後活動

事後アンケートの提出

他：本プログラムに関する情報や感想を、#モンゴル、#日・モ学生フォーラム、等のキーワードにて御自身の SNS アカウント等で発信することを歓迎いたします。

3. 参加申し込み

- (1) 参加条件 本事業の趣旨を理解した上で参加できる者を対象とします。

ア 事前オンライン学習会・合宿参加者 共通

- (i) 参加時に日本またはモンゴル国籍を有する学生であること。
(年齢原則 18 歳から 28 歳) (注1)
- (ii) 日本語での意思疎通が可能な者
- (iii) 本プログラム中に撮影した画像や映像を外務省のホームページ等に掲載する事について同意すること（事前オンライン学習会時に撮影をした集合写真等は本プログラムの公式 Facebook ページ等に掲載させて頂く予定です。）

イ 合宿参加者

- (i) 全2回の事前オンライン学習会全てに参加し、事後アンケートに回答した者
- (ii) 申込時点で日本国内の大学、大学院、高等専門学校、短期大学、専門学校等に所属している者
- (iii) 心身ともに健康であること（注2）
- (iv) 規律ある団体行動ができ、プログラム参加上のルール（自由行動不可、無断外出禁止等）に従うこと
- (v) 本事業の趣旨・目的を理解し、意見交換や各種プログラム等に積極的に参加し、議論に貢献する意欲を有すること
- (vi) 「IV. 本プログラム参加における責任範囲」に同意すること
- (vii) プログラム内容における手配および参加者との連絡のために必要な範囲内での外務省、協力企業、運送・宿泊機関、提携の団体等への個人情報の提供について同意すること
- (viii) 合宿の全日程に参加できる者

（注1） 学生であること、日本又はモンゴル国籍を所有していることについて証明書等にて確認させて頂く場合があります。

（注2） 本プログラムは集団行動であり、また多忙なプログラムスケジュールにも耐えうる体力・精神力が必要となるため、既往症又は慢性疾患、怪我の治療中や妊娠中等の場合は原則として参加は認められません。

（2）プログラム費用

ア 本事業負担

事前オンライン学習会費用、合宿時の最寄駅から宿泊場所までの往復交通費（注）、合宿中の食費・宿泊費・交通費、旅行傷害保険料

（注）最寄駅：往路は名古屋駅より、復路は名古屋駅まで送迎バスを手配します。

<詳細>

- ・宿泊場所： 10月11日（土曜日）から13日（月曜日・祝日）【2泊3日】
2連泊 福寿の里モンゴル村泊（宿泊用ゲル、3～4名で一部屋を予定）
- ・食事回数： 朝2回、昼2回、夕2回（1日目の昼食は各自購入）
- ・添乗員： 全行程同行いたします。
- ・旅行傷害保険： 個人用保険タイプ（自宅から帰宅）補償タイプ（死亡後遺傷害850万円、入院保険日額6,500円、通院保険日額3,000円、個人賠償責任保険1,000万、携行品損害保険（自己負担額3,000円）20万円、救援者費用等100万円）。

イ 参加者負担

自宅から最寄駅（注）までの往復交通費及び現地集合の場合自宅から宿泊場所までの往復交通費、前泊または後泊が必要となる場合の宿泊費、ホテル宿泊時に発生する宿泊費以外の個人的経費、電話、クリーニング等）、私的な買い物の費用、本事業で費用負担する

旅行傷害保険とは別に参加者が任意で加入する保険料等、参加決定後の自己都合によるキャンセルで発生する費用、その他本事業負担に含まれない費用。

(注) 最寄駅：JR 名古屋駅（集合及び解散）

(3) 応募方法 下記URLのページよりお申込みください。

お申込みページURL：<https://event.jtbwt.com/lyZ8Wm>

応募締め切り：2025 年 9 月 22 日（月）

(4) 選考結果通知 合宿の参加者は上限がある為、予定の人員を超える参加希望があった場合は、外務省にて合宿参加学生を選抜し、結果を合格者にお知らせします。選考結果の通知は事前オンライン学習会実施後に行います。

(注) 応募の内容について、詳細をお電話にてお伺いする場合があります。

(注) 選定理由を含む合宿参加の可否に係る個別のお問合せには、お答えできません。

(今後の予定)

2025 年 9 月 22 日（月）迄 参加者募集

2025 年 9 月 24 日（水）迄 参加者へ事前オンライン学習会の御案内（講義 URL 送信）

2025 年 9 月 27 日（土）、9 月 28 日（日） 事前オンライン学習会の実施

2025 年 9 月 30 日（火）迄 合宿参加者選考、合宿参加者へのご連絡・合宿のご案内

2025 年 10 月 11 日（土）から 13 日（月・祝） 合宿実施

4. 本プログラム参加における責任範囲

(1) 合宿期間中、参加者の健康状態や行動等が不適切と判断した場合、プログラム参加を取り消す場合があります。参加取消しによって生ずる費用は、当該者に請求する場合があります。

(2) 合宿期間中において、第三者（バス会社、ホテル等宿泊施設及びレストランを含む）及び参加者同士のいかなる行動や過失、参加者及び所持品に対する損害について、一切の責任を負いません。

(3) 本プログラムは、安全管理の責任は参加者自身にございますので、安全管理面に問題ないとお判断の上ご参加ください。

(4) 本プログラムへ参加されるに当たり、授業を休む場合の扱いについては、参加者自身が所属先の学校にご相談願います。

5. 本件に関するお問い合わせ

株式会社 JTB ビジネスソリューション事業本部第二事業部 井出／佐野／永草／土生

住所：〒163-0426 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 26 階

メールアドレス：nichimo-2025@jtb.com

電話：03-5909-8091

(注) 休業日・営業時間外にお送りいただいたお問い合わせは、翌営業日以降の返信となります。

(注) 営業日・営業時間 月曜日から金曜日 9 時 30 分から 17 時 30 分

(土曜日・日曜日・祝日休、はお休みとなります)

Facebook、Instagram で随時情報発信中

<facebook> 日本・モンゴル学生フォーラム公式 SNS

<https://www.facebook.com/Japan.Mongol.50th/>

アカウント名：日本・モンゴル学生フォーラム

<Instagram> 日本・モンゴル学生フォーラム S C - 2025 - の SNS

第3回の学生フォーラムに参加した学生有志による、学生準備委員会が Instagram で関連情報を発信しています。

https://instagram.com/jp_mn_student_forum?igshid=YmMyMTA2M2Y=

アカウント名：jp_mn_student_forum